

UMLモデリング技能認定試験 L2試験
実践紹介セミナー

UMLモデリング認定試験L2体験談

2006年2月28日

(株)日立製作所 ソフトウェア事業部
浜口 弘志

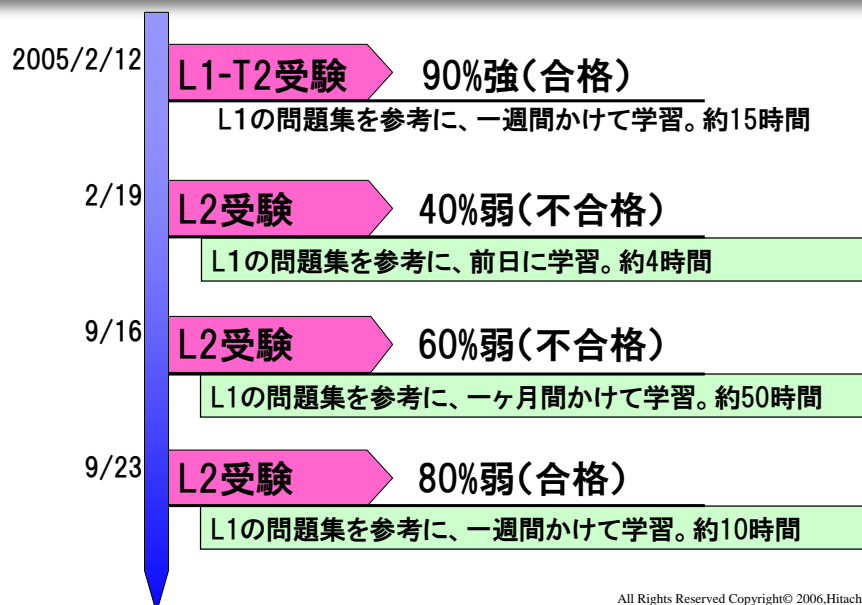
目次

- 1 はじめに
- 2 試験の概要
- 3 試験の対策(L2試験1, 2回目)
- 4 試験の対策(L2試験3回目)
- 5 まとめ

目次

1 はじめに

1 はじめに



目次

2 試験の概要

2 -1 試験の概要

UMLモデリング技能認定試験 L2

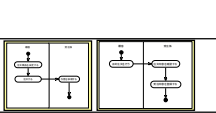
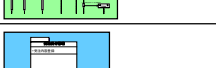

試験の概要①

要求されるスキル	説明
UMLモデリングの読書きができる (モデリングリテラシーがある)。	開発範囲の一部を担当しモデリングができる。 他者のモデルの意味を理解できる。

試験の概要②

出題数	複数選択式15問(設問を入れると22~24問)
合格点	正解率65%以上
試験時間	85分
試験形式	試験会場にてコンピュータを使い受験
持ち込み	不可。ただし会場にてメモ用ボードを配布。

2 -2 試験の傾向

UMLモデリング技能認定試験 L2		試験範囲の各セクション
①全般	UMLとモデリングに関する一般知識	
②ビジネスモデリング	ビジネスフローを中心とした問題。 【アクティビティ図、ステートチャート図】	
③要求分析モデリング	要求分析を中心とした問題。 【ユースケース図】	
④構造モデリング	静的構造の表現を中心とした問題。 【クラス図、オブジェクト図】	
⑤振る舞いモデリング	オブジェクト間相互作用の表現を中心とした問題。 【相互作用図、ステートチャート図】	
⑥設計モデリング	実装を意識したモデリング 【クラス図、シーケンス図、パッケージ分割など】	
⑦フェーズをまたがる問題	①～⑥の複合問題 【各種ダイアグラム】	

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd.

目次

3 試験の対策(L2試験1, 2回目)

3 -1 試験の対策(L2受験1, 2回目)

●計画と目標

L1-T2受験	90%強(合格)
L1の問題集を参考に、一週間かけて学習。約15時間	
L2受験	40%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、前日に学習。約4時間	
L2受験	60%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、一ヶ月間かけて学習。約50時間	
L2受験	80%弱(合格)
L1の問題集を参考に、一週間かけて学習。約10時間	

学習時間:1h~2h/1日、合計50h
 参考書 :UMLモデリング技能認定試験
 入門レベル(L1)対応問題集
 武政昭利(オージス総研)著
 学習方法:モデル記述の繰り返し



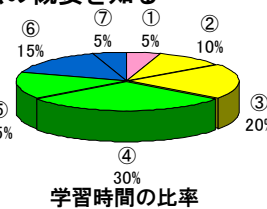
受験1回目との違い

問題文からそらでモデルを書けるように

●学習方針

- ①全般
- ②ビジネスモデリング
- ③要求分析モデリング
- ④構造モデリング
- ⑤振る舞いモデリング
- ⑥設計モデリング
- ⑦フェーズをまたがる問題

- UMLの仕様や各種開発手法の概要を知る
- モデリングの感覚を掴む
- モデル記号の意味を把握
- モデリングの感覚を掴む
- ①~⑤の知識を確認



All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 9

3 -2 試験の結果(L2受験1, 2回目)

●受験時の注意点

出題数
合格点
試験時間
試験形式
持ち込み

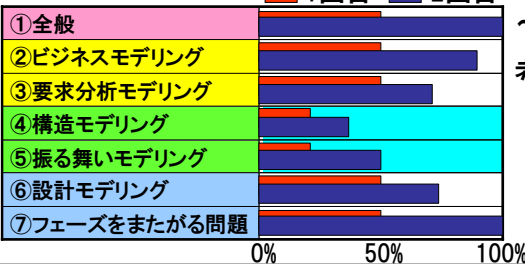
- ・採点は設問単位、部分点はない
- ・一問につき3~4分程度
- ・会場でメモ用ボードが配布される



- 難しい問題は後回し
(システムのチェック機能でチェックをつけておく)
- メモ用ボードを多用する



●試験結果



~60%弱(不合格)~

考察

- ・時間配分のミス
(見直しができなかった)
- ・クラス図、相互作用図の学習が不十分だった
(関連と多重度、処理の流れ)

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 10

目次

4 試験の対策(L2試験3回目)

4 -1 試験の対策(L2受験3回目)

●計画と目標

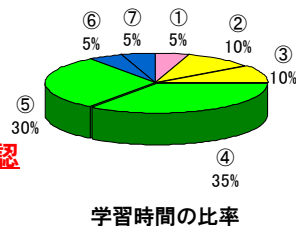
L1-T2受験	90%強(合格)
L1の問題集を参考に、一週間かけて学習。約15時間	
L2受験	40%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、前日に学習。約4時間	
L2受験	60%弱(不合格)
L1の問題集を参考に、一ヶ月間かけて学習。約50時間	
L2受験	80%弱(合格)
L1の問題集を参考に、一週間かけて学習。約10時間	

学習時間:2h/1日、合計10h
参考書 :UMLモデリング技能認定試験
入門レベル(L1)対応問題集
武政昭利(オージス総研)著
学習方法:④⑤を中心に復習

↓
問題文からそらでモデルを書けるように

●学習方針

- ①全般 → 簡単に復習
- ②ビジネスモデリング → 簡単に復習
- ③要求分析モデリング
- ④構造モデリング → 関連と多重度の復習
処理の流れを再度確認
- ⑤振る舞いモデリング
- ⑥設計モデリング → 簡単に復習
- ⑦フェーズをまたがる問題



All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 12

4 -2 試験の結果(L2受験3回目)

●受験時の注意点

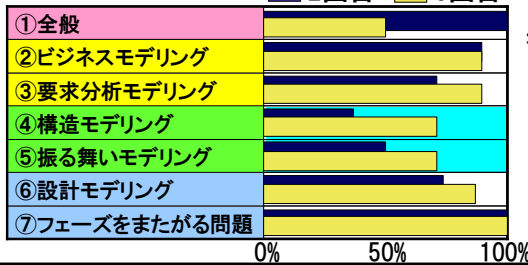
出題数
合格点
試験時間
試験形式
持ち込み

- ・採点は設問単位、部分点はない
- ・一問につき3~4分程度
- ・会場でメモ用ボードが配布される

- 難しい問題は後回し
(システムのチェック機能でチェックをつけておく)
- メモ用ボードを多用する
(モデリングの過程を記述し、見直し時に活用する)

重要

●試験結果



~80%弱(合格)~

考察

- ・見直しの時間を十分にとれた
- ・メモ用ボードを活用することで効率的な見直しができる

見直し時に6問修正

重要

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 13

目次

5 まとめ

5 まとめ

学習時の注意点

1. モデルを実際に書く
2. 問題文(条件)とモデルの相互関係を掴む



「UMLモデリング教科書 UMLモデリング L2」

著: 桐越信一 / 国正聡 / 竹政昭利 / 照井康真 / 橋本大輔
翔泳社出版

<http://www.seshop.com/detail.asp?pid=6581&mode=author>

受験時の注意点

1. メモ用ボードの活用……モデリングの過程を記述する
2. 難しい問題は後回し……解くことを諦めることも重要
3. 常に時間を気にする……1問3～4分で終わらせる
4. 見直しを行う……ケアレスミスや誤操作は意外に多い

All Rights Reserved Copyright© 2006.Hitachi,Ltd. 15

御清聴ありがとうございました

UMLモデリング認定試験L2体験談

Feb. 28, 2006

(株)日立製作所 ソフトウェア事業部
浜口 弘志